

成人式

109人が成人の仲間入り

平成24年松田町成人式が1月8日(日)、町民文化センター大ホールで行われました。今年には109人(男性59人、女性50人)が新たに成人の仲間入りをしました。式典では町長や来賓の方々からのお祝いの言葉、成人者の代表による意見発表、記念品贈呈などが行われました。



代表による意見発表、記念品贈呈などが行われました。今年も、幼稚園、小学校、中学校の恩師が式典に参加され紹介される度に新成人からは懐かしさを込めた歓声が上がっていました。成人式で代表として抱負を発表した二人の意見を紹介します。

代表が抱負を発表

成人を迎えて

大館 一貴さん



本日は私たちのためにこのような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。今日この日を無事迎えることができてとてもうれしく思います。

私は今、大学で地球環境や生物資源について学んでいます。幼少期から自然に恵まれたこの町で育ち、現在の地球環境にとっても興味を持ち、今の学部を選びました。

入学して二年がたち、さまざまなことを学びました。もちろん勉強は難しく、ついでにくるのがやっとなら苦勞していますが、得るものがとても多いように感じます。



▲恩師を囲んで

私は大学の先生方の話を聞いて、現実メディアが公表しているものとは、異なっていることを知り、何事も自分で見たり聞いたり経験することが、本当の意味で「知る」ということなのだと思えました。

今年からは研究室に配属され、今までよりも勉強は一層難しくなるとは思いますが、信頼できる友人たちと共に日々努力していきたいと思えます。

話は変わりますが、去年の3月11日、東日本大震災という天災が起きました。これにより多くの尊い命が失われました。さまざまな職種の方々が支援の輪を広げ、今もなお、被災地では復興に向けた活動が行われています。たくさんの方が節電をし、物資を送り、できうる限りのことをしてきました。被災者のために行動することを「こういう事態だから」と当たり前に思えることはとても素晴らしいことだと思います。

聞いた話ですが、ある留学生が地震発生時にレストランの外へ避難したそうです。その後、店内へ戻ったとき会計をする日本人を見てとても驚き、感動したそうです。また、あるコンビニの店長は地震が起きたとき、事の重大さに気づき、押し入る客に「被災者のために」という意図を伝え、店を閉め、

後にその店の商品はすべて避難所へ届けられたそうです。

この震災は、これからの日本の将来を担っていく私たちにとつても影響のある出来事でした。

繋がり、絆、思いやりの心、改めて考える機会となったことでしょうか。私たちはこれから社会人として世の中を歩んでいきますが、今後ともご指導くださいますようお願いいたします。私たちはこれから今まで培ってきたものを忘れず、1日1日を大切に、充実した日々を送っていきたく思います。本日は本当にありがとうございます。

二十歳の私

遠藤かえでさん



本日は私たちの門出に際し、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、激励の言葉をいただきました町長をはじめご来賓の方々、多数ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

私達は二十歳という節目をむかえ、一人の大人として社会に出ていくこととなります。本日まで私たちを励ましてくれた家族や親類、導いてくださった先生や地域の皆様方に対しては言葉にできないほどの感謝の気持ちでいっぱい입니다。

また、学校生活を共にし、喜びを二倍に、悲しみは半分にしてくれた友達みんな、みんながいなければ私はここまで充実した20年間を送ることはできませんでしたが、照れる気持ちもありますが、ここ

で一言お礼を述べさせていただきます。本当にありがとうございます。

大人になるといことは、自由が増えると同時に何事にも責任が伴うということでもあります。今まで皆様に支えていただいたことに改めて感謝の気持ちを抱くとともに、皆様が私たちに注いでくださった愛情に応えるためにも、これからはより自立した人間として自らの行動・決断に責任をもって生きていかなければなりません。

この世に生まれてくる人々は皆、何かしらの使命を持って生まれてくるはず。自分の使命を見つけて、その使命を果たすことが、私たちの生きる意味なのです。私はまだ自分の使命をはっきりとは見つけることができていませんが、過去の自分に誇れる自分であるために、今の私にできることは、毎日を精一杯生き、自分の生きる意味を模索することです。今日という日と一緒に迎えることができなかつた仲間のためにも、自分の命に誇りを持ち、周りの人を大切にしていこうと思えます。

二十歳になったとはいえ、私たちはまだまだ未熟であります。一つ一つの個性あふれる原石を輝かせることができるよう日々精進していきますので、これからもどうか温かく見守ってください。



▲なつかしい友達と

第66回足柄上地区一周駅伝競走大会

新春恒例の駅伝大会が1月3日に行われました。この大会は、足柄上郡5町と南足柄市からそれぞれ選抜された選手など11チームが参加し、松田町からは、2チームがエントリーしました。結果は、6位と9位でしたが、中学生から60代の選手までが出場した当町のチームは、世代を越えて走ることを楽しむ選手が集まり、ゴールという目標に向う姿に多くの方から称賛されました。2月12日に開催される「かながわ駅伝(秦野から相模湖を走ります)」では、今回出場した選手などが町の代表として出場します。



第2区大島千夏選手から第3区大島淳平選手へ姉と弟のたすきリレーが実現し、姉が弟の背中を押す姿に感動を与えてくれました。

- 出場選手 (走行順)
- 敬称略
 - 松田町Aチーム
 - 大館俊貴
 - 大島千夏
 - 大島淳平
 - 片岡崇浩
 - 内藤寛孝
 - 折田吉儀
 - 広瀬 隆
 - 松田町Bチーム
 - 早崎英幸
 - 渋谷麻友
 - 戸沢 嶺
 - 吉田信男
 - 遠藤 誠
 - 奥村昭寛
 - 佐藤淳一

新春駅伝大会

子ども会が主催する新春駅伝競走大会が1月15日に酒匂川町民親水広場で行われました。大会は、各子ども会対抗の駅伝大会として男子16チーム、女子12チームの総勢200名が出場しました。各子ども会対抗ということもあり、この大会に向けて練習を重ねた子ども会もあるため、応援する子ども会役員をはじめ保護者の方からも熱い声援が送られました。また、

男子の部	(チーム名)	水色屋仲町
優勝	仲町	水色屋
準優勝	寄B	
三位	かわ	ちやまる
女子の部	(チーム名)	C屋町
優勝	屋町	C
準優勝	神山	B
三位	若結	B

